

## 2. 自動車交通局

# 事業用自動車の安全対策の充実・強化

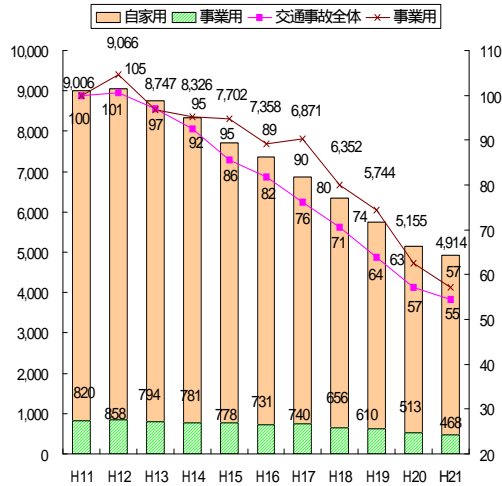
現状と課題

施策の方向性

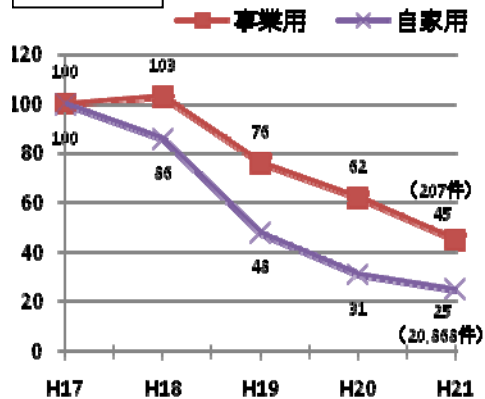
事業用自動車総合安全  
プラン2009等

具体的な対応

事故死者数



飲酒運転



事業用自動車の事故死者数は、交通事故全体と比べると減り方が鈍く、飲酒運転も後を絶たない状況にある。

## 輸送の安全確保は 国の重要な役割

官民共通の削減目標を設定し、ソフト・ハード両面から総力を挙げて事故の削減に取り組む。

### (削減目標)

## 交通事故全体

平成30年を目途に、交通事故死者数を半減させ、これを2500人以下とし、**世界一安全な道路交通**の実現を目指す。

福島みずほ内閣府特命担当大臣談話  
(平成22年1月2日)

## 事業用自動車

10年間で死者数半減  
(平成20年513人を10年後に250人)

10年間で事故件数半減  
(平成20年5万6千件を10年後に

3万件)  
飲酒運転ゼロ

## 安全監視体制の強化

### 行政処分の強化(H21.10)

- ・最低賃金法違反、社会保険等未加入に対する処分基準を創設
- ・飲酒運転等に対する処分基準を強化

### 安全マネジメントの中小企業への普及

アルコール検知器の使用義務付け(H23.4月~)

### 監査要員の増員

(H17年度121名 H22年度281名)

トラック適正化事業実施機関との連携強化



アルコール検知器

## 安全対策装置等への支援

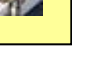
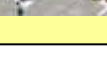
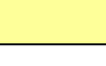
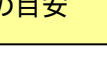
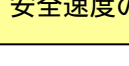
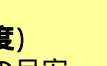
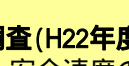
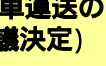
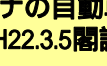
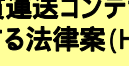
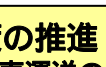
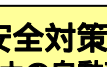
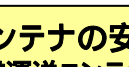
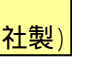
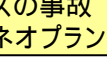
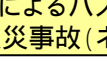
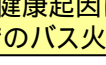
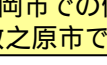
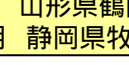
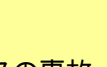
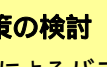
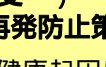
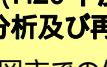
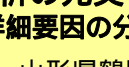
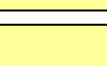
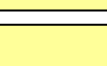
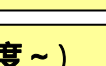
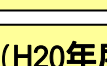
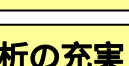
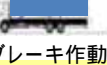
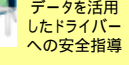
### 事故防止対策支援推進事業の創設(H22年度~)

デジタル式  
運行記録計  
の導入(補助)

映像記録型  
ドライブレコーダー  
の導入(補助)

事故防止の  
ためのコンサル  
の活用(補助)

衝突被害軽減ブ  
レーキ等ASV技術  
の導入(補助)



## 事故要因分析の充実(H20年度~)

### 重大事故の詳細要因の分析及び再発防止策の検討

- (例)平成20年1月 山形県鶴岡市での健康起因によるバスの事故
- 平成21年3月 静岡県牧之原市でのバス火災事故(ネオプラン社製)

## 国際海上コンテナの安全対策の推進

国際海陸一貫運送コンテナの自動車運送の安全確保に関する法律案(H22.3.5閣議決定)

### 安全対策の調査(H22年度)

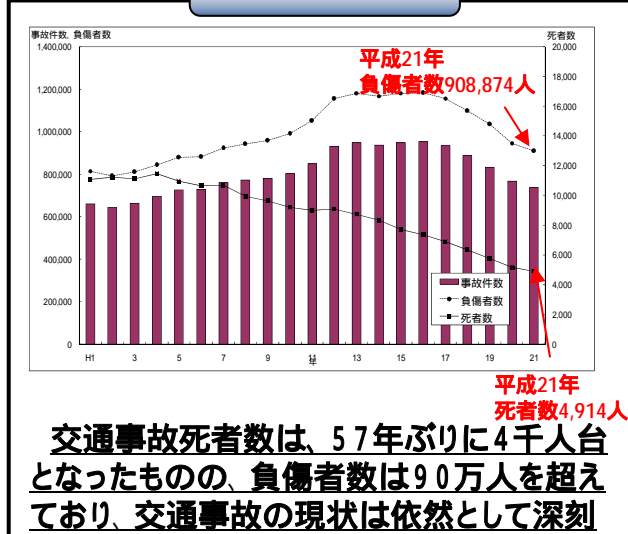
- ・偏荷重の目安、安全速度の目安



# 車両の安全性の確保

## 交通事故の現状と削減目標

### 交通事故の推移

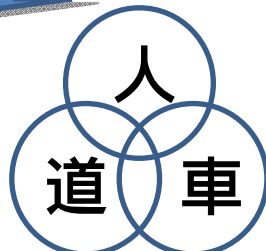


### 政府の事故削減目標

- ・平成30年までに交通事故死者数2500人以下
- ・**世界一安全な道路交通の実現**

- ・第9次交通安全基本計画(H23~27)の策定
- ・**車両安全対策による死傷者数・事故件数削減目標の設定**

目標達成のためには、**人・道・車**の観点から連携し、それぞれの対策を進めて行くことが重要



交通事故対策の3つの要素

## 施策の方向性

技術開発

ASV(先進安全自動車)

事故回避等の新技術の開発・普及促進

安全基準

・安全基準の拡充・強化  
・基準の国際調和の推進

型式認証

生産時の適合性チェック

自動車アセスメント

自動車の安全性能評価・ユーザーへの情報提供

新車への対策

点検・整備

使用過程車の安全・環境性能の確保

自動車検査

使用過程における適合性の定期的(車検)、抜打(街頭検査)チェック

リコール

使用過程車の市場回収措置

車の維持・管理

## 具体的な施策(特に重要な施策)

・被害軽減ブレーキやふらつき警報装置等の先進安全技術の普及・促進のための補助制度

ふらつき警報装置



・日本が技術的優位性を有するリチウムイオン蓄電池搭載車の安全性について国際標準化を見据えた基準化  
・超小型自動車等新たな自動車に対する安全対策  
・ハイブリッド車等の静音性に関する安全対策

自動車用リチウムイオン蓄電池



超小型自動車のイメージ



・IT等新技術による自動車検査の高度化  
・検査データの不具合情報の収集、ユーザーによる点検整備励行への活用

・リコール制度に関して、ユーザー目線に立ったものとなるよう検討